



国分寺中学校の令和7年度がスタートしました。4月1日、風雨の強い中、新たな教職員が本校に赴任しました。多くの教職員が入れ替わりましたが、全教職員が一丸となって、教育活動にあたってまいります。校長は引き続き菊地高夫です。本校2年目となります。今年度も、本校の教育活動に対する保護者及び地域の皆様方のご理解・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



【始業式】

4月8日（火）に、新任式と始業式を実施しました。新任式では、新たに着任した職員と復帰した職員の計9名から自己紹介の挨拶がありました。

引き続き行われた始業式では、校長が二つのことを話しました。一部抜粋した部分を紹介します。

新年度にあたって、皆さんに二つのことをお話しします。一つ目は、やはり「当たり前のことをこつこつと」です。これは、今年も継続です。

国分寺中が目指す学校の姿として掲げているのが、「明るく きびきびと活動する 温かい学校」です。この学校の姿を実現するためのスローガンが「当たり前のことをこつこつと」になります。

「当たり前」と一言で言ってしまうのですが、皆さんにとっての「当たり前」とは何でしょうか。新年度のスタートにあたり、「当たり前」がどんなことなのか、ぜひ確認してほしいと思います。昨年度のクラスや学年で「『当たり前のこと』とは、こういうことですよね。こつこつと取り組んでいきましょう。例えば、朝の読書に真剣に取り組むことを心がけましょう。」というような話もあったでしょうか。

一方、「『当たり前のことをこつこつ』って言うけれど、『当たり前』ってどんなことなのか考えてみましょう。」ということについて考えたり話し合ったりしたクラスもあったかもしれません。

いずれにしても、「当たり前」について確認し、「去年できていなかった当たり前を今年はしっかりやっとうこう」とか「この当たり前はできていたけど、更にレベルアップしたい」とかを確認し、日々こつこつと取り組んでいってほしいと思っています。

二つ目は、「自分も他の人も大切にすること」です。昨年度も時々話しましたが、自分の命や存在を大切にするとともに、他の人を思いやり、受け入れ、認めることも大切にしてください。

始業式に参加した2・3年生に向けて、翌日入学する1年生の手本となってほしいという期待をを込めて話をしました。

【入学式】

4月9日（水）に入学式を挙行了しました。式ではまず、担任による新入生呼名が行われ、新入生は緊張しながらも、さわやかな返事をしていました。

教育委員会告示では、「絶望は希望に変えられる」という話がありました。中学校では、思うようにい

かずがっかりしたり、悲しくなったりするかもしれない。そんな時は、その絶望を希望に変えて、もうひと頑張りしてほしいといった主旨でした。

新入生の代表が、三つのがんばりたいことについて、堂々と決意の言葉を述べました。三つとは以下のことです。

- ①学習面について
- ②生活面（あいさつ）について
- ③何事にも積極的に、全力で取り組むことについて

入学式を終え、新入生は校庭に出て、晴天の下クラスの写真撮影を行いました。入学式を祝うかのように、この日宇都宮地方気象台において、桜の満開を観測したとのことでした。



【本年度の学校経営】

学校教育目標と本年度の学校経営の方針をお示しします。

○学校教育目標（目指す生徒像）

- ・意欲をもち 自主的に学習する生徒
- ・人と郷土を愛し 進んで奉仕する生徒
- ・健康で はつらつとした生徒

○学校経営の方針～本年度の努力点～

- ・「学び合い」を活かした「主体的・対話的で深い学び」の実現
- ・道徳科の授業を要とした心の教育の充実
- ・心身の健康と安全で安心できる環境づくり
- ・一人一人を大切にする特別支援教育の充実

生徒指導集会（4／10）において、いじめゼロを目指して、スローガンを確認しました。

〈国分寺中学校区 いじめ防止スローガン〉

思いやりの心もち 個性を大切に認め合おう
～十人十色の国分寺カラー～

お知らせ

生徒の活躍や各種お便りを学校ホームページ（http://www.school.shimotsuke.ed.jp/j_school/kokutyu/index.html）で紹介していきます。個人情報保護の観点から、ホームページには、原則、氏名は掲載いたしません。

ホームページ上に掲載されている文書や画像等のコンテンツ、学校だよりの無断使用・転載・引用を禁じています。